

## 第2節 騒音

事業実施区域及びその周辺に住居等が存在し、工事の実施（建設機械の稼働、資材及び機械の運搬に用いる車両の運行）及び土地又は工作物の存在及び供用（自動車の走行）に伴う騒音による影響が考えられるため、調査、予測及び評価を行った。

### 2.1 調査

#### (1) 調査の手法

##### ① 調査した情報

##### a) 騒音の状況

一般環境騒音（騒音レベルの90%レンジの上端値： $L_{A5}$ 、等価騒音レベル： $L_{Aeq}$ ）及び道路交通騒音（等価騒音レベル： $L_{Aeq}$ ）を調査した。

##### b) 交通の状況

交通量及び走行速度の状況を調査した。

##### c) 沿道の状況

住居等の状況及び地表面の状況を調査した。

##### ② 調査手法

##### a) 騒音の状況

調査は、現地調査とし、表8-2-1に示す方法により行った。調査に使用した測定機器は表8-2-2に示すとおりである。

表8-2-1 騒音の調査方法

調査項目	調査方法
騒音レベルの90%レンジの上端値 ( $L_{A5}$ )	「特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準」（昭和43年11月27日厚生省・建設省告示第1号）に規定された騒音の測定方法（JIS Z 8731）
等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )	「騒音に係る環境基準について」（平成10年9月30日環境庁告示第64号）に規定された騒音の測定方法（JIS Z 8731）

表8-2-2 調査に使用した測定機器

調査項目	測定機器	
	測定機器名	メーカー及び形式
騒音レベルの90%レンジの上端値 ( $L_{A5}$ )	計量法第71条の条件に合格した積分型普通騒音計	リオン(株) NL-21、NL-22
等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )		

b) 交通の状況

「第8章第1節大気質 1.1調査」と同様である。

c) 沿道の状況

調査は、既存資料の収集・整理及び現地調査による目視により行った。

③ 調査地域及び調査地点

調査地域は、環境影響が考えられる範囲内において、住居等の保全対象が存在する、あるいは住居等の将来の立地が見込まれる地域とした。

調査地点は、調査地域における騒音に係る環境影響を予測及び評価するために必要な情報を適切かつ効果的に把握できる地点とした。

一般環境騒音の調査地点は表8-2-3、図8-2-1及び図8-2-2に示すとおりである。道路交通騒音の調査地点は表8-2-4、図8-2-3及び図8-2-4に示すとおりである。なお、測定は、一般環境騒音については地上1.2m、道路交通騒音については、沿道の住居等の保全対象の状況を勘案して、地上1.2m及び地上4.2m位置において行った。

交通の状況の調査地点は「第8章第1節大気質 1.1調査」と同様である。

[調査地点選定の基本的な考え方]

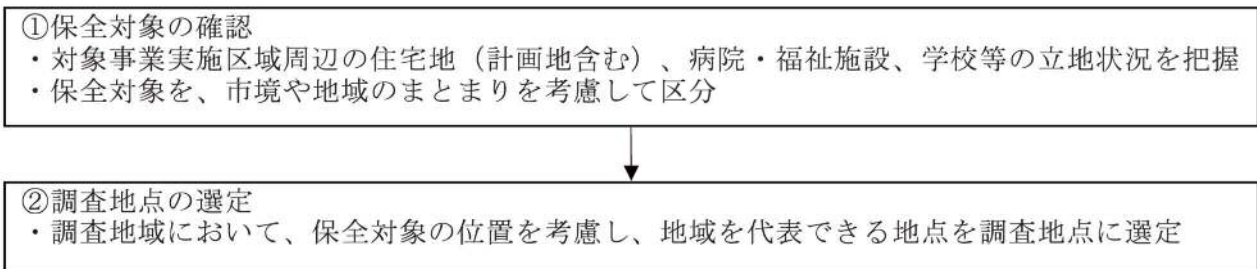


表8-2-3 調査地点（一般環境騒音）

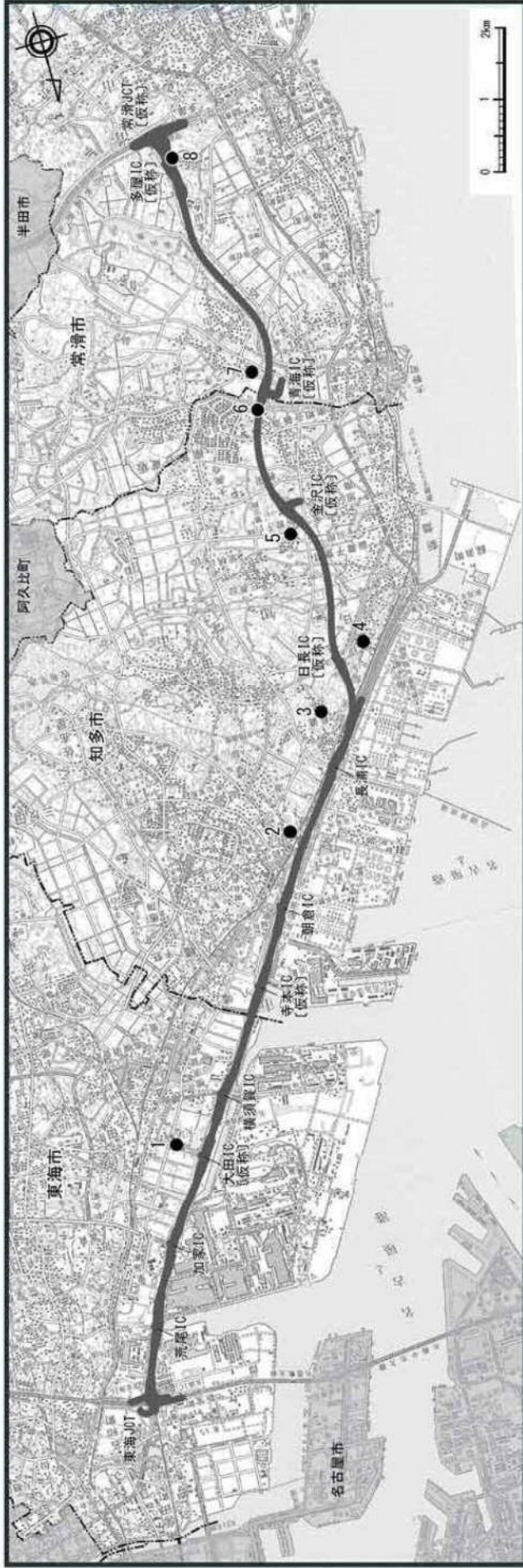
調査地点 番号	調査地点	調査項目	
		L <sub>A5</sub>	L <sub>Aeq</sub>
1	東海市大田町	○	○
2	知多市新知	○	○
3	知多市長浦	○	○
4	知多市日長	○	○
5	知多市金沢	○	○
6	知多市南粕谷本町	○	○
7	常滑市金山	○	○
8	常滑市多屋	○	○

注) 表中の調査地点番号は図 8-2-1 に対応している。

表 8-2-4 調査地点（道路交通騒音）

調査地点 番号	調査地点	調査項目	調査道路
		L <sub>Aeq</sub>	
1	東海市横須賀町 1	○	一般国道 247 号（西知多産業道路）
2	東海市横須賀町 2	○	一般国道 155 号
3	知多市新知	○	一般国道 155 号（西知多産業道路）
4	知多市長浦	○	一般国道 155 号（西知多産業道路）
5	知多市日長	○	一般国道 155 号
6	知多市南粕谷本町 1	○	市道東海知多線
7	知多市南粕谷本町 2	○	県道南粕谷半田線
8	常滑市久米	○	県道板山金山線
9	常滑市金山	○	県道大府常滑線

注) 表中の調査地点番号は図 8-2-3 に対応している。



凡例	記号	番号	名称
● 調査地点	1	東海市大田町	
	2	知多市新知	
	3	知多市長瀬	
	4	知多市日長	
	5	知多市金沢	
	6	知多市南粕谷本町	
	7	常清市金山	
	8	常清市多摩	

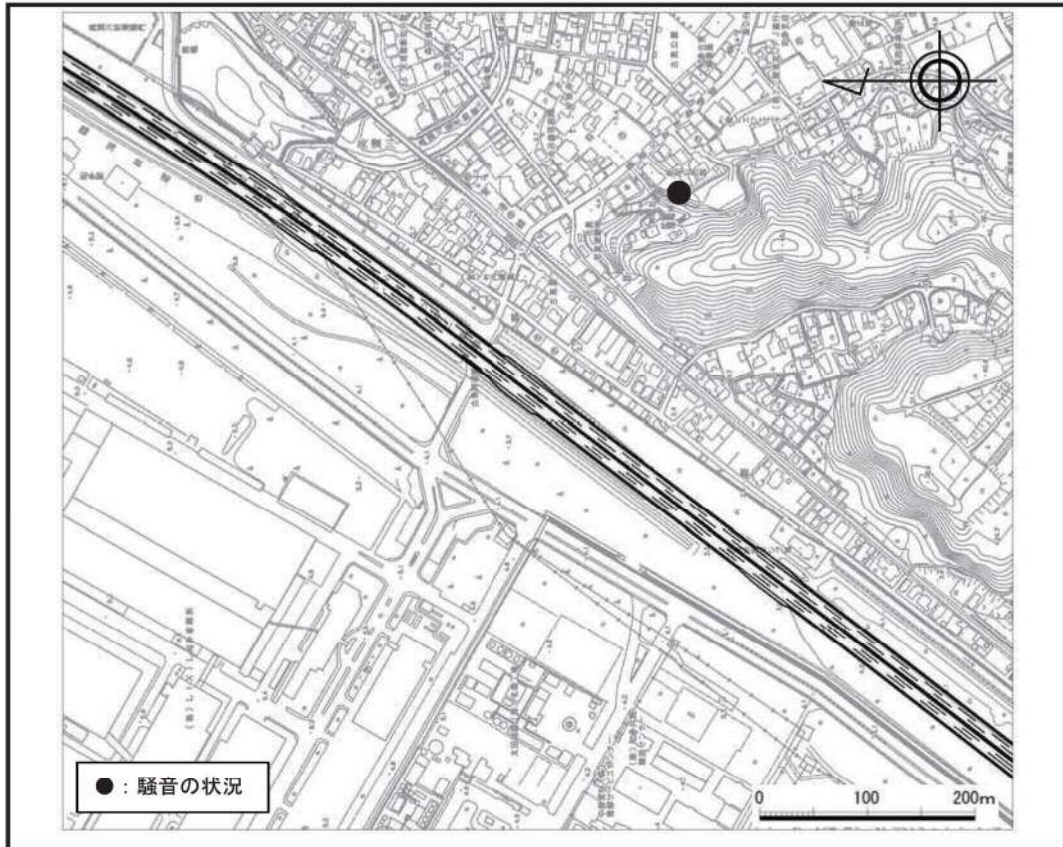
凡例	記号	名称
—	—	都市計画対象道路事業実施区域
	- - -	行政界

図 8-2-1 一般環境騒音調査地点位置図



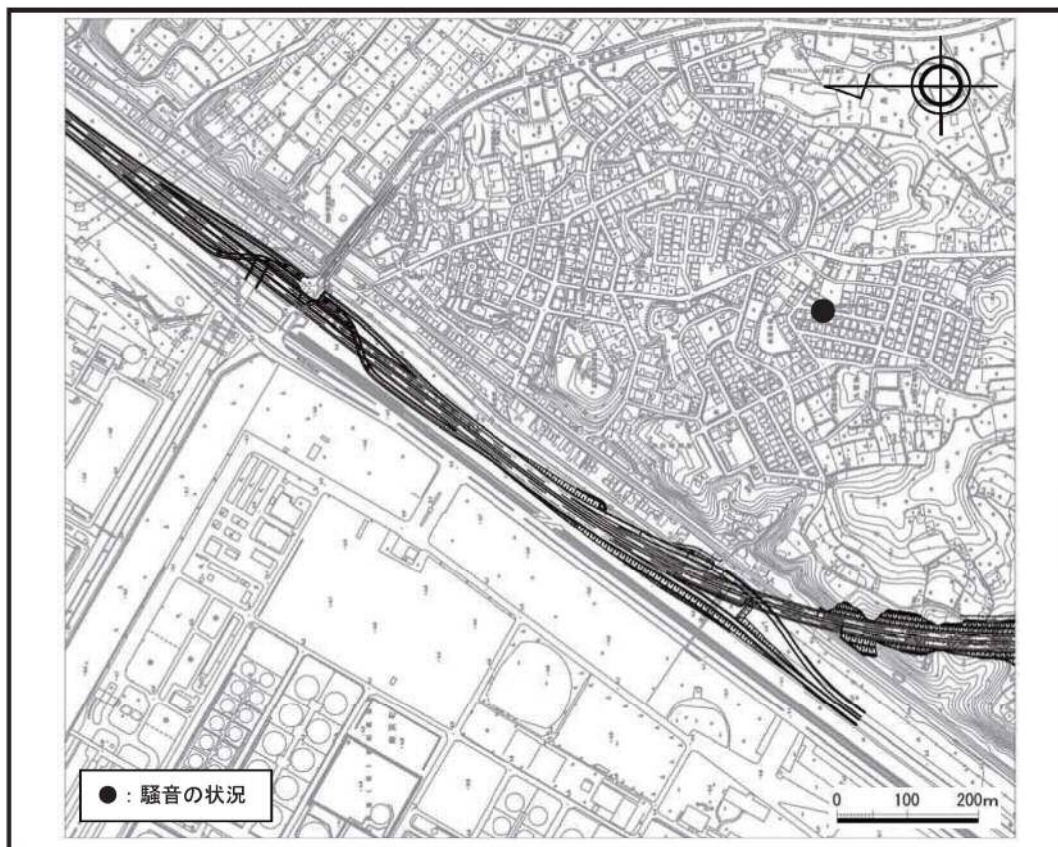
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2(1) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 1 東海市大田町)



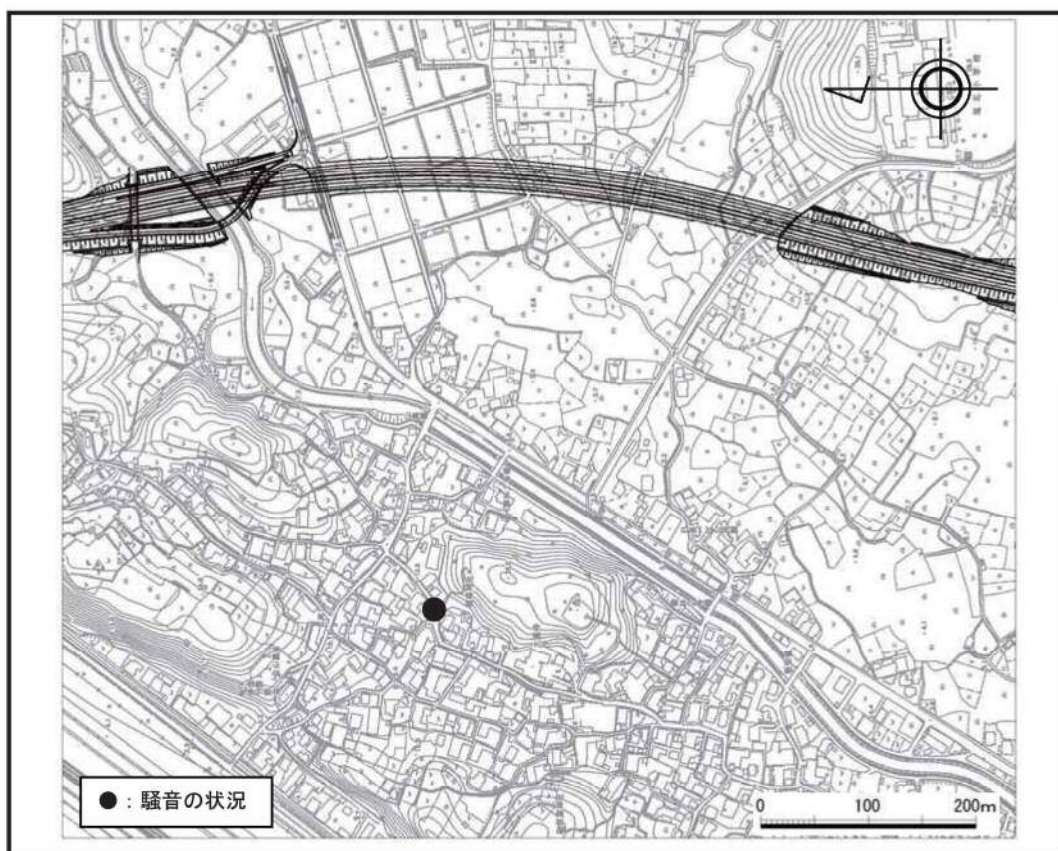
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2(2) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 2 知多市新知)



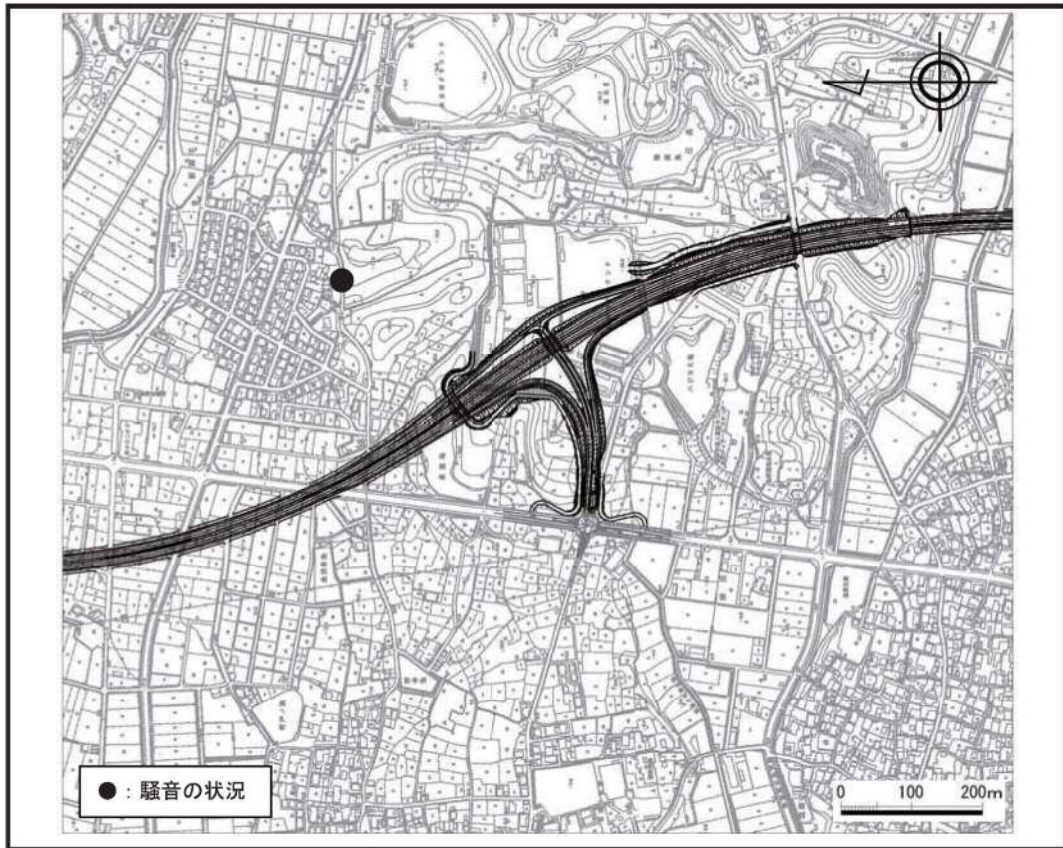
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2 (3) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 3 知多市長浦)



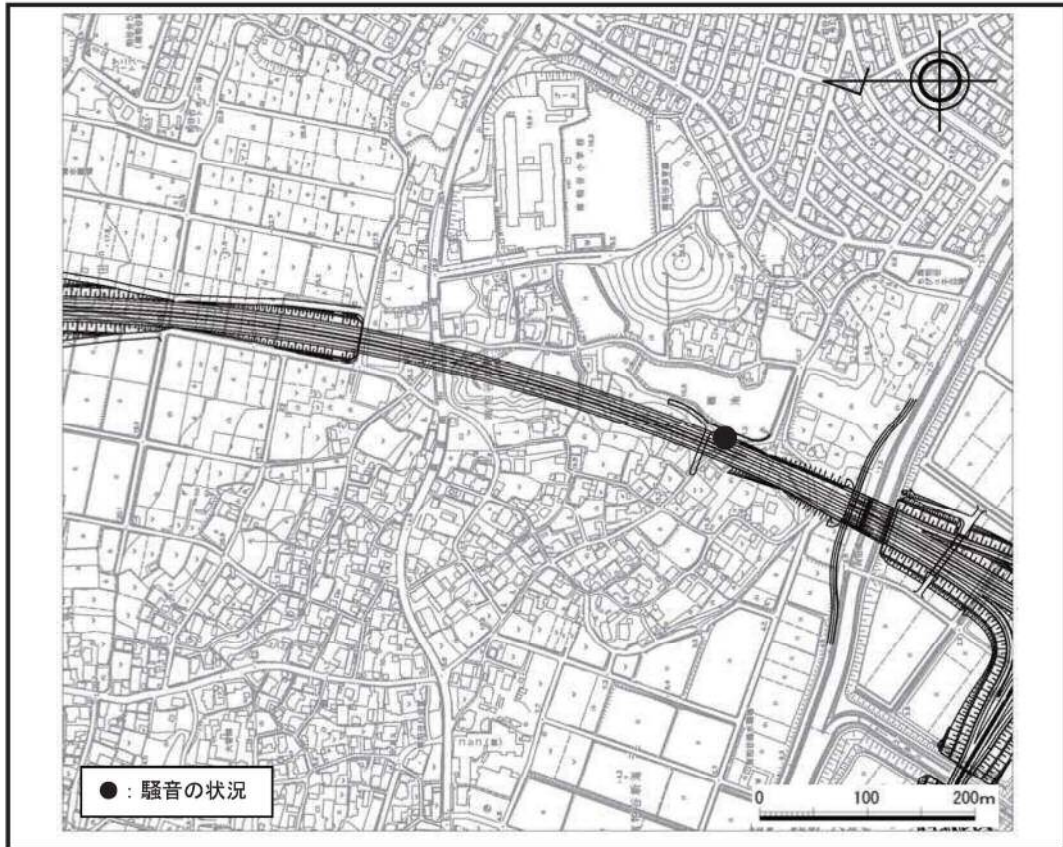
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2 (4) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 4 知多市日長)



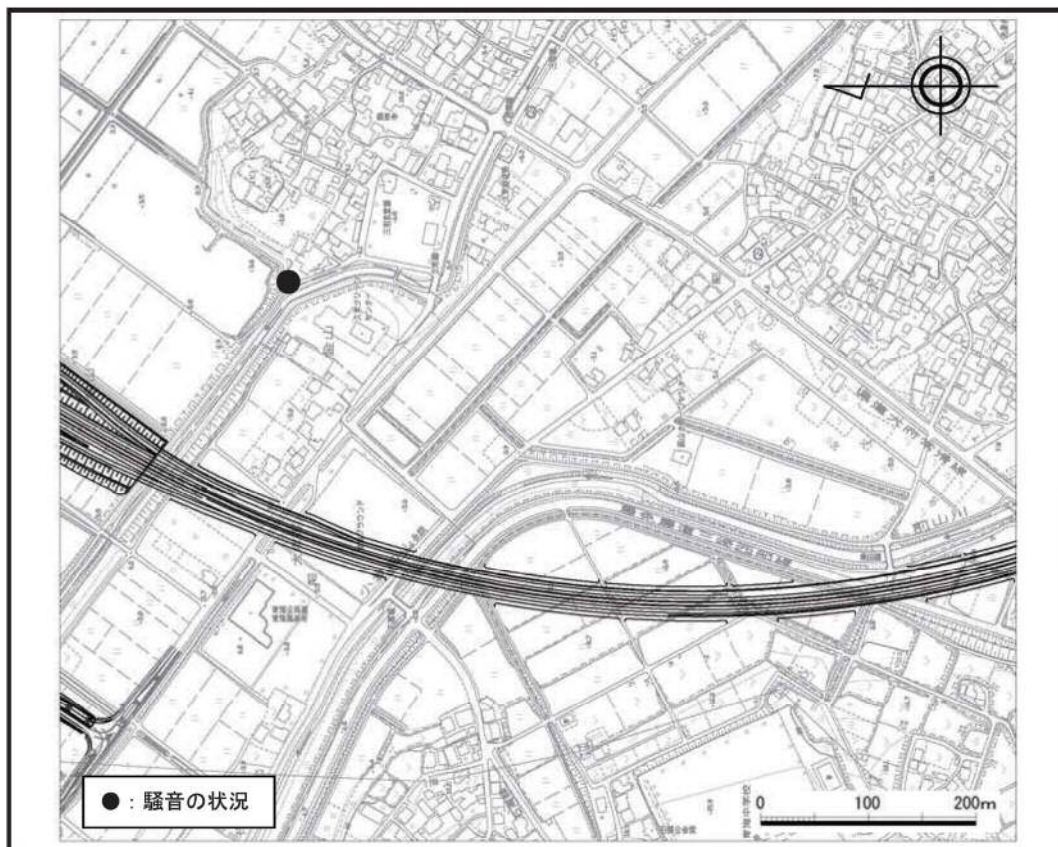
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2 (5) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 5 知多市金沢)



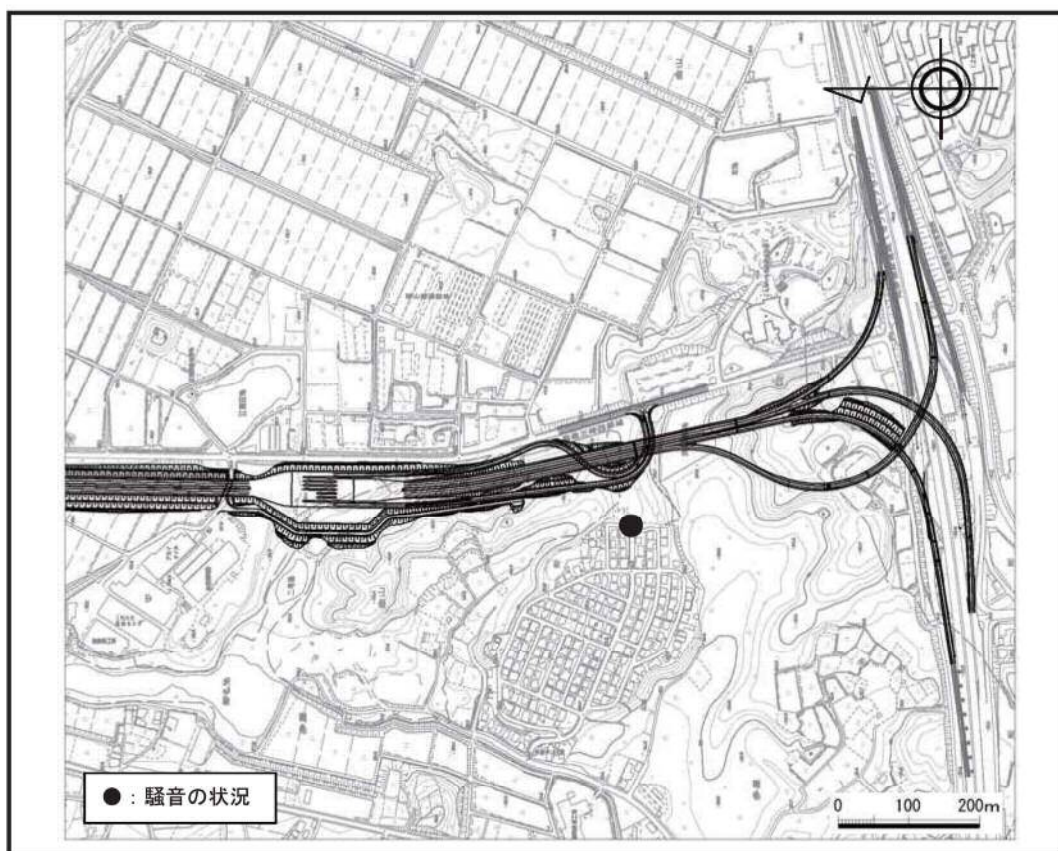
注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2 (6) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 6 知多市南粕谷本町)



注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

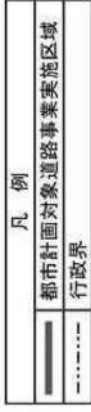
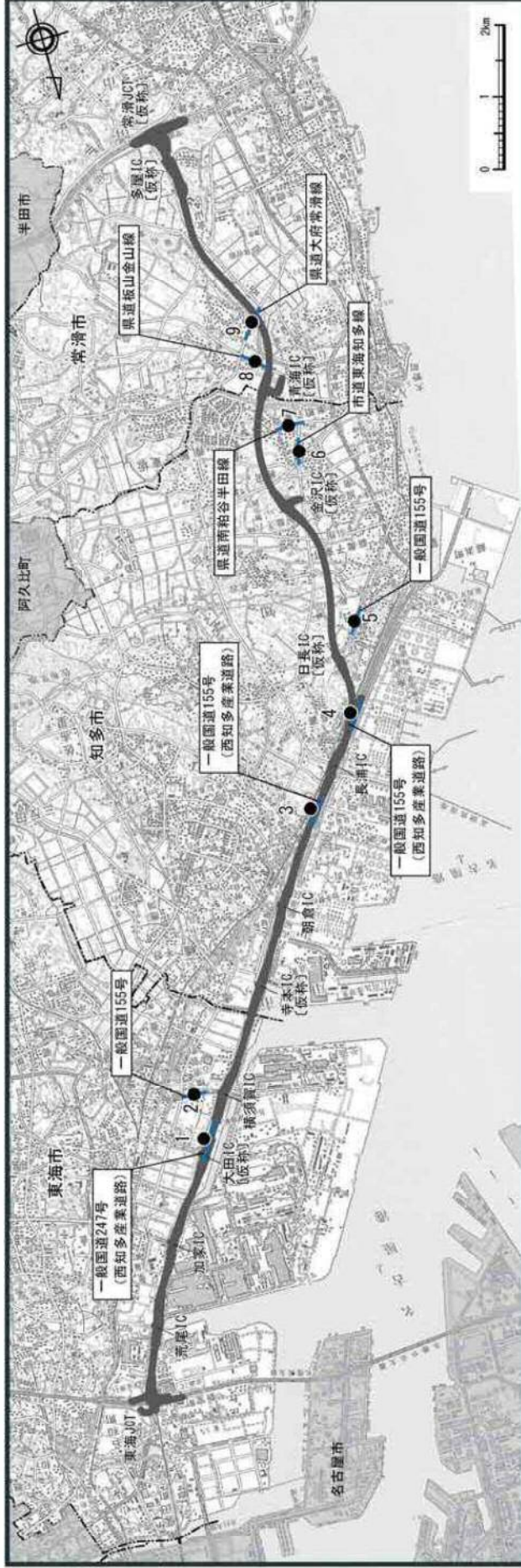
図 8-2-2 (7) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 7 常滑市金山)



注) 調査地点は図 8-2-1 に対応している。

図 8-2-2 (8) 一般環境騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 8 常滑市多屋)





凡例

記号	番号	名称	調査道路
● —	1	東海市横須賀町1	一般国道247号 (西知多産業道路)
	2	東海市横須賀町2	一般国道155号
	3	知多市新知	一般国道155号 (西知多産業道路)
	4	知多市長浦	一般国道155号 (西知多産業道路)
	5	知多市日長	一般国道155号
	6	知多市南粕谷本町1	市道東海知多線
	7	知多市南粕谷本町2	県道南粕谷半田線
	8	常滑市久米	県道板山金山線
	9	常滑市金山	県道大府常滑線

図 8-2-3 道路交通騒音調査地点位置図



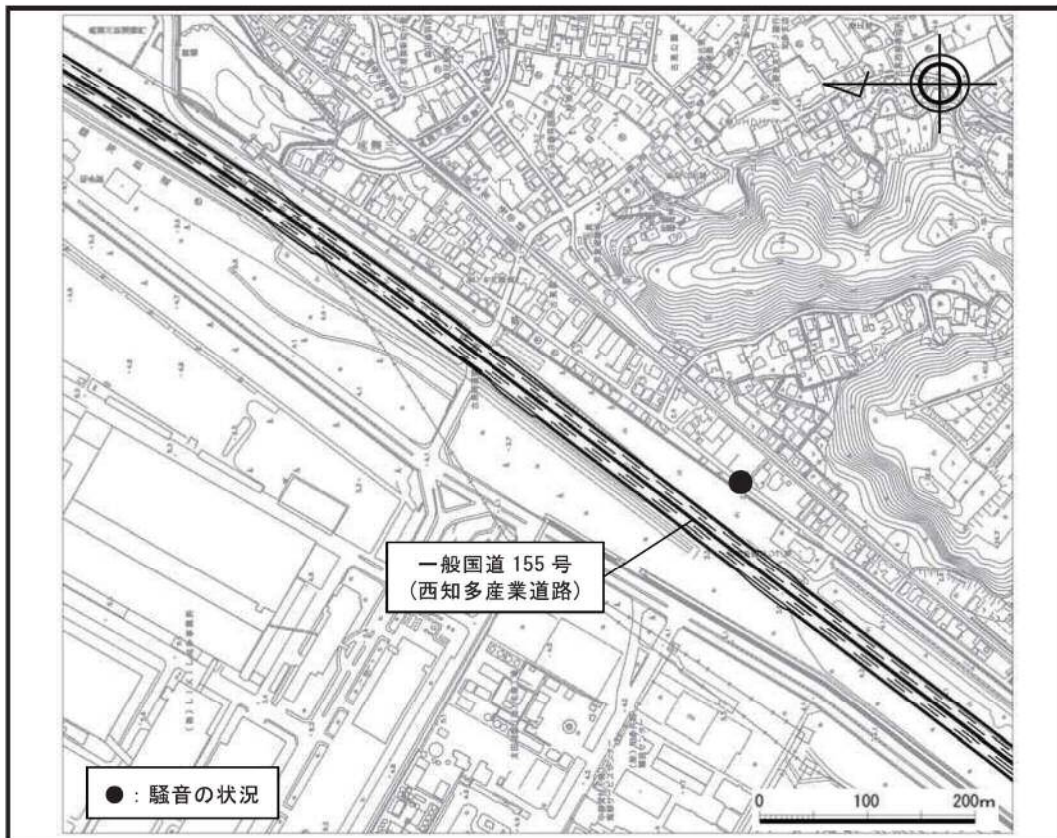
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4(1) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 1 東海市横須賀町 1)



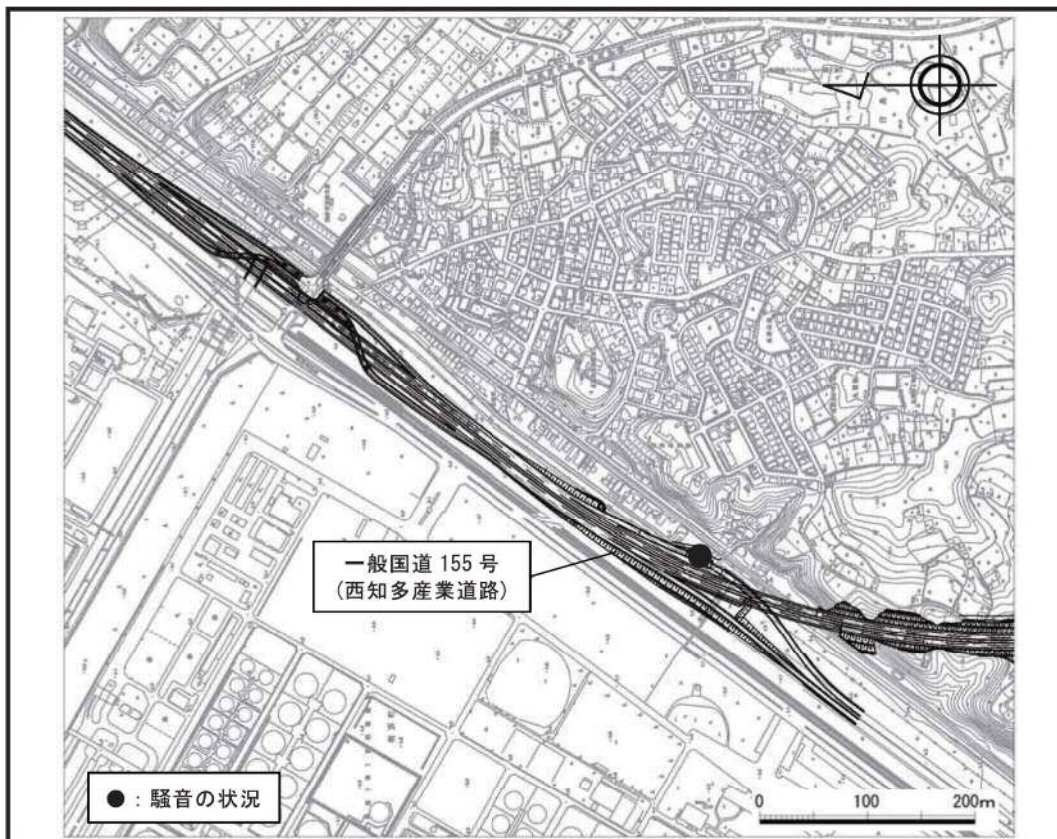
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4(2) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 2 東海市横須賀町 2)



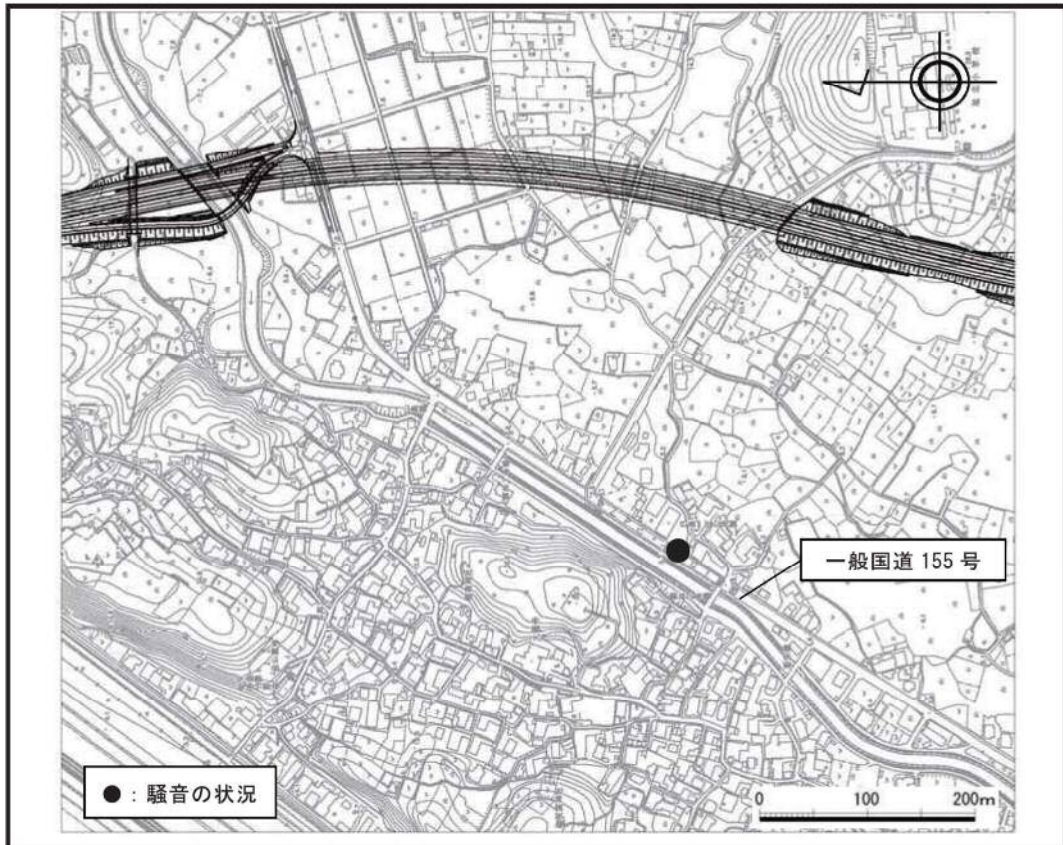
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (3) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 3 知多市新知)



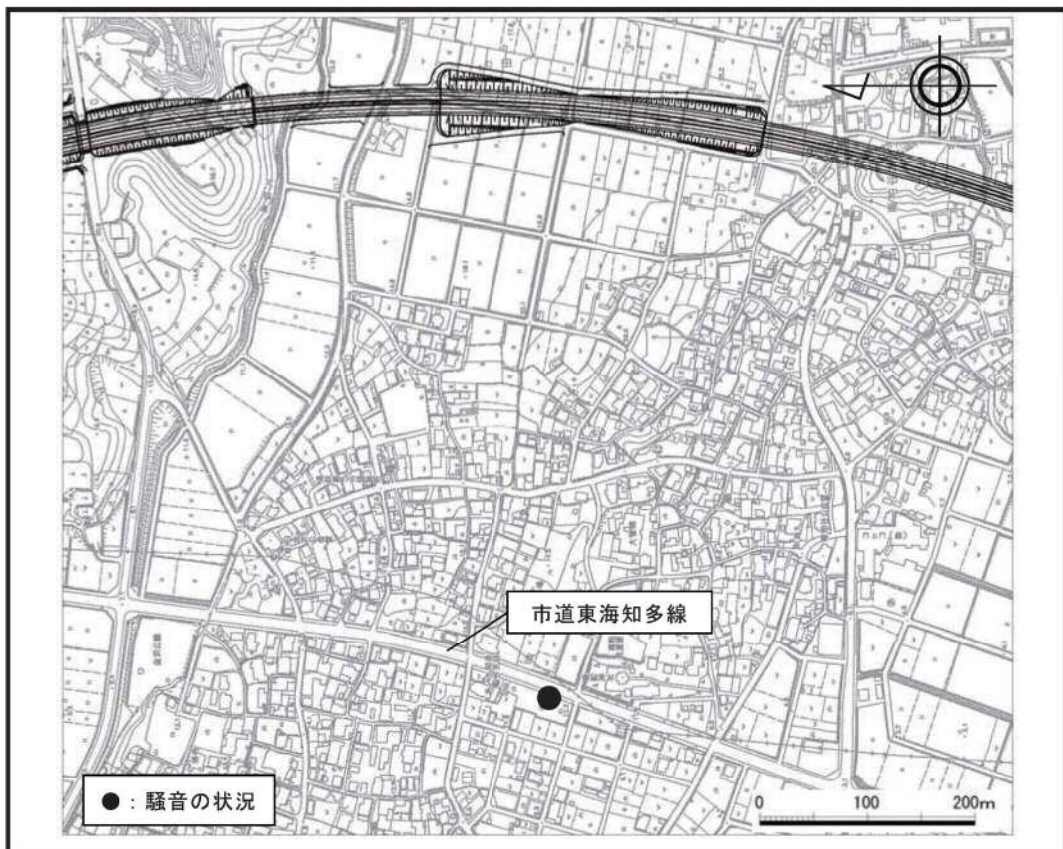
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (4) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 4 知多市長浦)



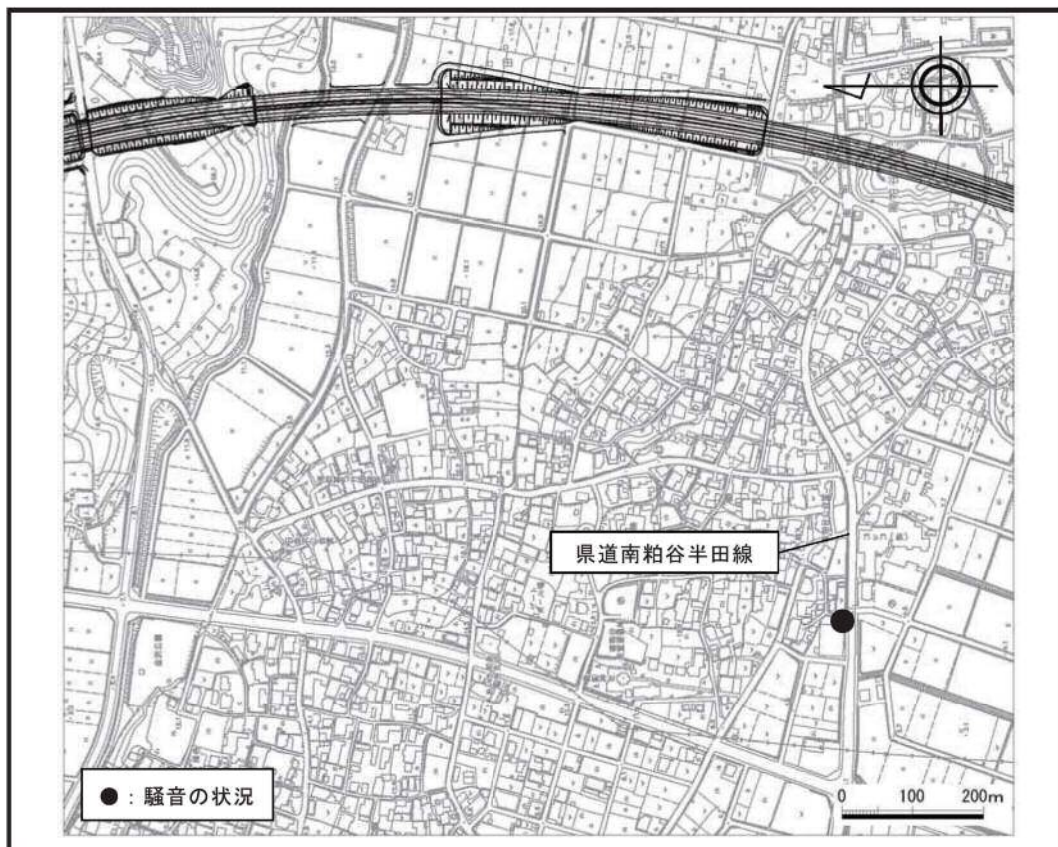
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (5) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 5 知多市日長)



注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (6) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 6 知多市南粕谷本町 1)



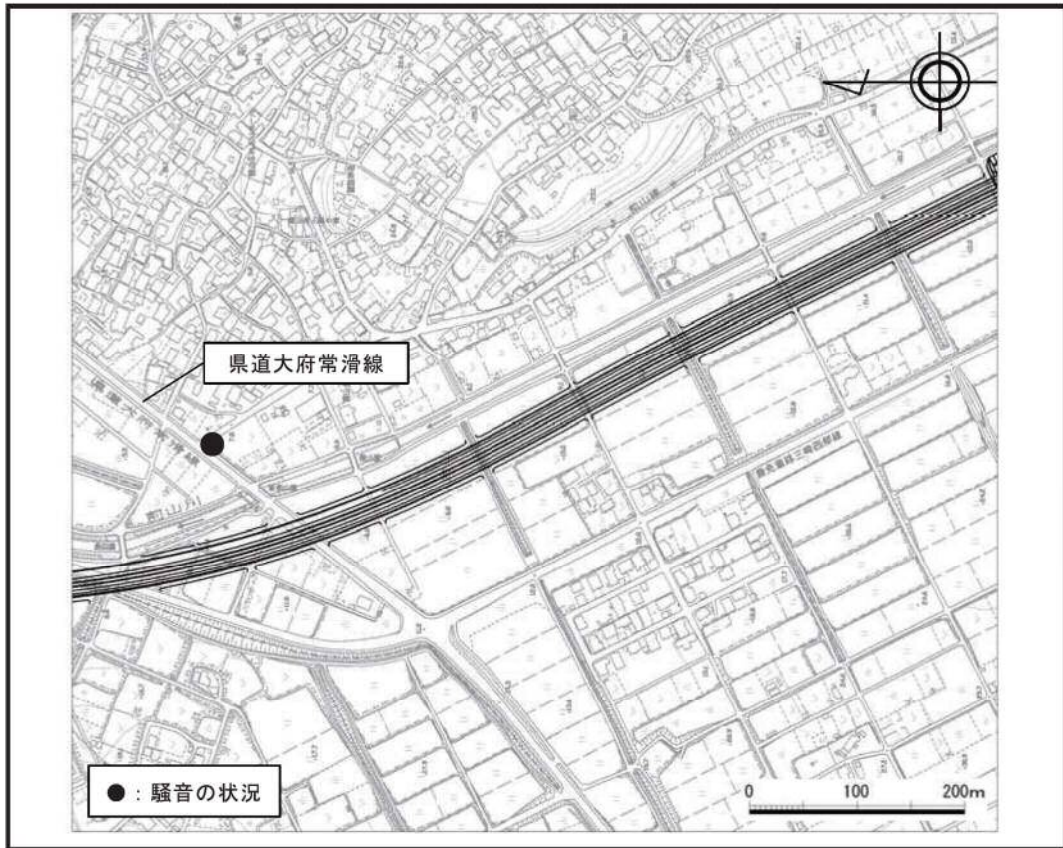
注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (7) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 7 知多市南粕谷本町 2)



注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4 (8) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 8 常滑市久米)



注) 調査地点は図 8-2-3 に対応している。

図 8-2-4(9) 道路交通騒音調査地点詳細位置図 (調査地点 9 常滑市金山)

④ 調査期間等

一般環境騒音及び道路交通騒音の調査期間は、騒音が1年間を通じて平均的な状況であると考えられる日を基本とし、騒音レベルの測定は24時間連続して行った。調査期間は表8-2-5～表8-2-6に示すとおりである。

交通の状況の調査期間は、「第8章第1節大気質 1.1調査」と同様とした。

表8-2-5 調査期間（一般環境騒音）

調査項目	調査地点番号	調査期間
騒音レベルの90%レンジの上端値 ( $L_{A5}$ ) 及び等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )	1, 2, 3	平成23年11月29日(火)13:00 ～11月30日(水)13:00
	4, 5, 6, 7, 8	平成23年12月7日(水)13:00 ～12月8日(木)13:00
沿道の状況	—	平成23年11月29日(火)、 平成23年12月7日(水)

- 注 1) 表中の調査地点番号は図8-2-1に対応している。  
 2) 調査は測定上、同条件の2回（平日でかつ雨・強風の日やセミなどの虫の声等の自然音の影響を受けない平均的な状況を呈する日）に分けて実施した。

表8-2-6 調査期間（道路交通騒音）

調査項目	調査地点番号	調査期間
等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )	2, 3, 4	平成23年11月29日(火)13:00 ～11月30日(水)13:00
	1, 5, 6, 7, 8, 9	平成23年12月7日(水)13:00 ～12月8日(木)13:00
沿道の状況	—	平成23年12月7日(水)

- 注 1) 表中の調査地点番号は図8-2-3に対応している。  
 2) 調査は測定上、同条件の2回（平日でかつ雨・強風の日やセミなどの虫の声等の自然音の影響を受けない平均的な状況を呈する日）に分けて実施した。

## (2) 調査結果

## ① 現地調査結果

## a) 一般環境騒音

調査結果は表8-2-7及び表8-2-8に示すとおりである。

調査地点における騒音レベルの90%レンジの上端値 ( $L_{A5}$ ) は46dB～54dB、等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) は昼間が44dB～52dB、夜間が33dB～51dBである。

表8-2-7 一般環境騒音の現地調査結果（騒音レベルの90%レンジの上端値）

[単位：dB]

調査地点 番号	調査地点	騒音レベルの90% レンジの上端値 ( $L_{A5}$ )
1	東海市大田町	54
2	知多市新知	52
3	知多市長浦	47
4	知多市日長	51
5	知多市金沢	46
6	知多市南粕谷本町	48
7	常滑市金山	51
8	常滑市多屋	51

注1) 表中の調査地点番号は図 8-2-1 に対応している。

2) 表中の調査結果は表 8-2-5 に示した調査期間のうち、「騒音規制法」に基づく特定建設作業に伴って発生する騒音の規制に関する基準に示された作業時刻（7時～19時）の値を示す。

表8-2-8 一般環境騒音の現地調査結果（等価騒音レベル）

[単位：dB]

調査地点 番号	調査地点	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ )	
		昼間	夜間
1	東海市大田町	52	51
2	知多市新知	49	44
3	知多市長浦	46	42
4	知多市日長	48	43
5	知多市金沢	44	33
6	知多市南粕谷本町	45	35
7	常滑市金山	48	42
8	常滑市多屋	46	38

注1) 表中の調査地点番号は図 8-2-1 に対応している。

2) 表中の調査結果は、昼間（6時～22時）、夜間（22時～翌6時）の値を示す。



b) 道路交通騒音

調査結果は表8-2-9に示すとおりである。

昼間における等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) は、地上1.2mで57dB～73dB、地上4.2mで61dB～72dBである。また、夜間における等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) は、地上1.2mで50dB～67dB、地上4.2mで54dB～67dBである。

表8-2-9 道路交通騒音の現地調査結果

調査地点 番号	調査地点	地上 高さ	等価騒音レベル ( $L_{Aeq}$ ) (dB)		調査道路
			昼間	夜間	
1	東海市横須賀町 1	4.2m	62	54	一般国道 247 号 (西知多産業道路)
		1.2m	58	50	
2	東海市横須賀町 2	4.2m	72	67	一般国道 155 号
		1.2m	73	67	
3	知多市新知	4.2m	63	59	一般国道 155 号 (西知多産業道路)
		1.2m	58	54	
4	知多市長浦	4.2m	63	58	一般国道 155 号 (西知多産業道路)
		1.2m	57	53	
5	知多市日長	4.2m	65	57	一般国道 155 号
		1.2m	65	58	
6	知多市南粕谷本町 1	4.2m	63	56	市道東海知多線
		1.2m	64	57	
7	知多市南粕谷本町 2	4.2m	61	54	県道南粕谷半田線
		1.2m	64	57	
8	常滑市久米	4.2m	68	62	県道板山金山線
		1.2m	68	63	
9	常滑市金山	4.2m	63	55	県道大府常滑線
		1.2m	64	56	

注 1) 表中の調査地点番号は図 8-2-3 に対応している。

2) 表中の調査結果は、昼間 (6 時～22 時)、夜間 (22 時～翌 6 時) の値を示す。

**c) 交通の状況**

交通量及び走行速度の状況の調査結果は、「第8章第1節大気質 1.1調査」と同様である。

**d) 沿道の状況**

沿道住居等の状況については、周辺に高層の建築物はなく、1～2階建ての住居が連担して立地している。

また、調査地点周辺における地表面の種類については、北部区間、南部区間ともに沿道近傍は主にコンクリート、アスファルトであるが、それ以遠は宅地などの固い地面、表面の柔らかい畑地及び田んぼ、草地となっている。